

2015年国民平和大行進

2015・7・8 (水)

NO. 6 (最終号)

大阪実行委員会ニュース

連絡先：大阪市中央区谷町7丁目3-4 新谷町第3ビル210号室 大阪原水協 TEL(06)6765-2552

核兵器廃絶が被爆者の願いです



☆2015年国民平和大行進は、被爆者と核兵器廃絶の願いを共有するものとなりました。

住吉区在住の被爆者・高木静子さんは次のようなメッセージを実行委員会に寄せられ、7月4日国民平和大行進当日、自宅マンションから横断幕をかかげ平和行進参加者を激励されました。(写真上右)「被爆70年目の夏を迎え、あの広島での8月6日が蘇ります。つらい記憶の数々。被爆者は、けっして自分の体験を繰り返させてはならないと思っております。皆様が国民平和大行進を通して核兵器廃絶を訴えられておられることに、心から敬意を表し、連帯をするものです」のメッセージが寄せられました。

☆7月6日、茨木市役所前での出発集会で挨拶に立たれた茨木市原爆被害者・岩本賢三会長(写真下)は、「広島・長崎での真夏の惨禍から70年が経ちました。唯一被爆国日本は、憲法を生かし、核兵器廃絶の立場を明確にして、各国の先頭に立って恒久平和を訴え続けていく使命を帯びています。しかしながら、現状をみるに、集団的自衛権を合法化し、自衛隊を戦地に赴かせる道を開こうとしています。「憲法違反」の声が多い中、今一度、みんなで憲法をじっくり目を通してみようではありませんか」と訴えられました。

☆7月5日、寝屋川市市役所前での出発集会では、寝屋川市原爆被害者の会からの参加者が揃いのオレンジTシャツを着てズラリ。山川美英・会長は、「2015年NPTニューヨーク行動に4人派遣できたことは、会の大きな確信になりました。今日も、ニューヨークに行ってがんばった松山さん、春田さん、山口さん、山下さんが先頭を歩きます。松山さんは、この8月ワシントンで被爆証言をします。85歳なので、大丈夫かと、みんなで心配しています」と話されました。その後5人で寝屋川市内を元気に行進しました。